

松代オオムラサキの里



松代オオムラサキの里の環境保全に取り組んでいます。



私たち「松代オオムラサキの里」は、オオムラサキをはじめとする様々なチョウが飛翔乱舞する事を夢見て生息環境の保全・整備に取り組んでいます。



主な私たちの活動をご紹介します

①オオムラサキ観察会開催(小学校/一般)

6月下旬から7月にかけてオオムラサキが成虫になる頃にオオムラサキ観察会を開催しています。

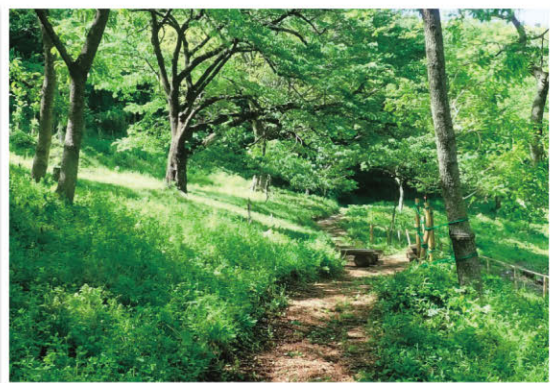
毎年、松代地域の小学校6校が授業の一環としてオオムラサキの観察に訪れています。

里山遊びとしてエノキの実を使った「えのみ鉄砲」も楽しみました。



一般市民対象の観察会には約150名の方が参加しました。オオムラサキの幼虫・蛹・成虫をはじめ様々な昆虫や植物を観察することができました。

また、新設した自然観察道をお披露目し、ガイドツアーも実施しました。



②自然観察道の新設

昨年度の信州大学工学部地域環境演習の学生さんが立案した、自然観察道を作りました。

道の掘り起こしから整地まで、約3か月かけて完成しました。

小生物や植物が観察できる遊歩道として活用しています。



③環境整備



オオムラサキの生息環境を保全するため、エノキやクワ等の間伐を行なっています。

また、定期的に草刈りを行ない、自然観察園としての環境づくりをしています。



④信州大学研修生受け入れ



信州大学の地域環境演習として3名の学生さんが参加し、オオムラサキの里の環境整備を一緒に行ないました。

オオムラサキ観察会では、自然観察道のガイドとして参加者を案内してもらいました。

また、改版した自然観察ハンドブックの制作もサポートしていただきました。

⑤自然観察ハンドブックの改版



以前制作した自然観察ハンドブックの在庫がなくなったためハンドブックを改版しました。

冊子はA5サイズで、表紙を含めて全24ページです。これまでのハンドブックより4ページ増やして、昆虫や動植物の紹介を多くしました。

ハンドブックはオオムラサキ観察会等で配布しています。

プロジェクトリーダーから一言

“オオムラサキの里について思う”

私達「松代オオムラサキの里」は松代町竹ノ入でオオムラサキの保護活動をしています。活動を始めた10年前に比べオオムラサキの発生が減少ぎみでしたが、ここ数年は回復傾向にあります。しかしまだ満足するにはほど遠い状態です。私達はどのように自然に接し、オオムラサキを増やすにはどのようにすべきか？ オオムラサキが「竹ノ入」の空に乱舞する姿を夢見ながら、会員の皆さんや一般市民の方々の知恵や情報を頼りに前に進み、生育環境の整った「オオムラサキの里」を次世代に引き渡したいと思っています。



リーダー 杉山 茂樹